

大阪大学蛋白質研究所セミナー

蛋白質合成法の最近の進歩と生命科学

日時:平成 20 年 9 月 25 日(木), 26 日(金)

場所:大阪大学銀杏会館 会議室(3F)

阪急電鉄千里線 北千里駅から徒歩 20 分

地下鉄御堂筋経由北大阪急行 千里中央駅から徒歩 15 分

または大阪モノレール 阪大病院前から徒歩 10 分

9 月 25 日 (木)

13:20-13:30 開会の挨拶 相本三郎 (阪大蛋白研)

第一部 化学プロセスによるペプチド・蛋白質合成法の進歩とその応用

- 13:30-14:00 N-S アシル基転位反応を基盤とするペプチドライゲーション法の開発
川上 徹 (阪大蛋白研)
- 14:00-14:30 新規ペプチド精製方法の開発
原 利明 (阪大蛋白研)
- 14:30-15:00 クロロホルム・フェノール混合溶媒を援用した長鎖ペプチドの化学合成
西内祐二 (ペプチド研・阪大院理)
- 15:00-15:30 新規チオエステル合成法を利用した糖タンパク質の化学合成
北條裕信 (東海大工)
- 15:30-16:00 -休憩-
- 16:00-16:30 メタル化ペプチドを用いる金属集積制御と機能開拓
高谷 光 (京大化研)
- 16:30-17:00 多成分蛍光標識法による EGFR 結合性ペプチドの探索
北松瑞生 (岡山大院自然)
- 17:00-17:30 生体内の酵素活性を可視化する分子プローブのデザイン・合成・生物応用
菊地和也 (阪大院工)
- 17:30-18:00 分光学の立場から見た蛋白質合成法への期待ー振動分光による光センサータンパク質の研究
海野雅司 (佐賀大理工)
- 18:15-20:00 -懇親会-

9 月 26 日 (金)

第二部 生化学プロセスによるペプチド・蛋白質合成法の進歩とその応用

- 9:30-10:00 再構築型無細胞蛋白質合成システムの開発とその応用
清水義宏 (東大院新領域)
- 10:00-10:30 無細胞翻訳系を利用したペプチドディスプレイ技術の応用
土居信英 (慶大理工)
- 10:30-11:00 ヒト細胞由来セルフリータンパク質合成システムの開発とその応用
今高寛晃 (理研 SSBC)
- 11:00-11:20 -休憩-
- 11:20-11:50 L/F-transferase を用いた蛋白質 N 末端特異的な蛍光および陽電子放射断層撮影 (PET) プローブ標識
瀧 真清 (岡大院自然)
- 11:50-12:20 非天然アミノ酸導入技術を用いたタンパク質のピンポイント標識法の開発と応用
芳坂貴弘 (北陸先端大マテリアル)
- 12:20-12:50 特殊ペプチドの翻訳合成
村上 裕 (東大先端研)
- 12:50-13:00 閉会の挨拶
菅 裕明 (東大先端研)

世話人:菅 裕明 (東大先端研), 宍戸昌彦 (岡大院自然), 川上 徹 (阪大蛋白研), 相本三郎 (阪大蛋白研)
連絡先: 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所 蛋白質有機化学研究室 川上 徹
TEL: 072-727-7119, FAX: 072-727-7118, E-mail: kawa@protein.osaka-u.ac.jp
URL: <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>
参加費・事前登録: 不要